地域の情報をお届け!

もっと!みはらトピックス

特産レモン「エコレモン」について校外学習

県立尾道特別支援学校しまなみ分校中学部の5人は7月9日、校外学習でJAせとだ支店を訪れました。

JA広島果実連の松浦道郎技師を講師に、地元特産品のレモンについて説明を聞き、「エコレモン」は環境に負荷がかからない栽培方法で、皮まで安心して食べられることを学びました。

引率した井上愛弓先生は、「エコレモンについて知り、学んだことから、生徒には環境を守るためには何が出来るかを考えてほしい。持続可能な社会について、これからも生徒と一緒に関心を深めていきたい」と話しました。



▲講習をする松浦技師

女性セミナー開講　JA共済しあわせ健康教室「フレイル予防に向けて」

JA女性部三原地区本部は7月13日、女性セミナー開講式を行いました。

女性部員やJA職員33人が参加。農協共済別府リハビリテーションセンター(大分県)理学療法士の山本隆人さんを講師に招き、JA共済しあわせ健康教室「フレイル予防に向けて　食事・運動のポイント」を受講しました。

講演では、加齢に伴う心身の衰えである「フレイル」について、日頃からの食事と運動が大切であることや、バランスよく食品を摂る重要性を学び、実際に体を動かして腰痛予防体操を体験しました。

同女性部の下久保幸子部長は「学んだことを生かして、今年度も仲間と元気に女性部活動に取り組んでいきたい」と話しました。



▲フレイル予防に向けて学ぶ女性部員

加工用ばれいしょ　収穫始まる

三原市の農事組合法人和草は7月16日、加工用ばれいしょの収穫を始めました。

収穫は自走式ハーベスターで1畝ずつゆっくりと掘り上げ、腐敗や病気などの規格外は作業員5人が目視で確認し取り除きます。選別後は専用の扇風機で乾燥させ、カルビーに出荷します。

今年は、約3haで栽培し、約40tを出荷しました。

同法人の松本耕三代表は「5月に天気の良い日が続き品質の良いばれいしょが収穫できており、高齢化や様々な要因で生産者が減少したが、自走式ハーベスターを活用し、今後も栽培を続けていきたい」と話しました。





▲自走式ハーベスターで収穫される加工用ばれいしょ

特産のブランドナス「三原の美〜なす」出荷が本格化

JA三原地域管内で7月下旬、特産のブランドナス「三原の美〜なす」の出荷が本格化しました。5戸と2法人で構成する三原なす部会が90aで栽培。今年は約50t出荷を計画しています。

品種は「筑陽」で、実がしまってアクが少なく、他の品種と比べて柔らかいのが特徴です。

今年は6月に雨が続き、生育の出遅れが心配されましたが、順調に生育し、高品質に仕上がりました。かん水量の適切な調節や剪定管理で、A品率の向上や収量増加につなげます。

同部会長の森川稔也さんは「若い生産者を増やして、三原の特産ブランドナスを広く知ってもらい、さらなる認知度向上と消費拡大を目指したい」と話しました。



▲特産のブランドナス「三原の美〜なす」

なるほど え～のう！営農情報

水稲

土づくり

土づくりは、作業労力が大きく、費用対効果が分かりにくいことから避けられがちですが、異常気象に備え、安定して収量を確保するために、とても重要になります。土づくり肥料や堆肥を施用し、計画的な土づくりに取り組みましょう。

特に、次のような症状が出ている圃場では、地力が低下している可能性があるため、注意が必要です。

- ○湛水時にガス湧きが多くなった
- ○途中で肥料が切れてしまう
- ○倒伏が多い
- ○収量・品質が落ちた

まずは、収量が低い圃場から優先的に取り組み、効果を体感してみましょう。

土づくり肥料

土づくり肥料は、健全な水稲をつくるために必要な微量要素で構成されており、酸性土壌を中和するアルカリ性資材となっております。中性に近づけることで稲わらの腐熟を促進させる効果も期待されます。

また、酵素資材（アグリ革命など）と併用すると相乗効果が期待できます。

ミネラルG	カキテツ
	
ケイ酸、鉄分などの各種成分がバランスよく含有されている総合的な土づくり肥料。	かき殻とミネラルGを混合した土づくり肥料。ミネラル分が豊富かつ、多孔質構造で有害ガスを吸着・無毒化する。
10a あたり 200kg	10a あたり 120kg

特に不足する微量要素

●ケイ酸

茎葉が硬く丈夫になり直立する事で、倒伏を軽減するだけでなく、下葉まで光が届き、株全体の光合成量が増えます。また、蒸散量も増えるので葉温の冷却効果も期待できます。

水稲は、毎年10a当たり100kg以上のケイ酸を吸収します。稲わら・河川等からも補給されますが、毎年20～40kg不足するので土づくり肥料で補いましょう。

●鉄分

土壌の有害ガスや酸素欠乏による障害から根を守ります。生育停滞や秋落ち田の改善効果があります。

稲わらが腐熟する際など、還元状態が続くと減少していきます。毎年10～30kg補給しましょう。

柑橘

●摘果

先月に引続き摘果作業を進めましょう。温州みかんでは小玉果や内なり果、裾成り果を中心に適正着果量まで摘果してください。中晩柑は先月までに仕上げ摘果は完了されていると思いますが、再度園地を見回り、時期ごとの目安より小さい果実は摘果しましょう。

表１：温州みかん時期別果実肥大基準（２S 以下の大きさ）

単位：mm

品　種	葉果比	8月30日	9月10日	9月20日	9月30日
極早生	20	47	50	53	54
早　生	25	42	45	48	51
いしじ	25	42	45	48	50

表２：中晩柑時期別肥大基準

単位：mm

品　種	葉果比	収穫時の階級	8月30日	9月10日	9月20日
ネーブル	80～100	L	55	60	65
八　朔	80～100	L	65	70	75
伊予柑	80～100	L	61	64	69
甘　夏	80～100	L	69	74	78
しらぬひ	100	2L	61	65	68
はれひめ	70～80	L	48	52	56
南津海	30	M以上	36	40	44
レモン	30	11月M	43	46	48
清　見	80～100	L	56	60	62
はるか	70～90	L	51	55	59
はるみ	80	L	49	53	57

●台風対策

台風の発生・接近が多い時期です。直前ではできる対策も限られますので、排水路の整備や施設・防風網の点検、苗木高接ぎ樹の支柱への結束、かいよう病の防除など、事前対策は早めに実施しておきましょう。

落葉果樹

落葉果樹において次年度に向かって貯蔵養分の準備を始める時期に入ります。礼肥の施用や健全な葉を保つための防除などの管理を進めましょう。

収穫・選別作業

先月に引き続き、ブドウやイチジクは着色や糖度など品質状況を確認しながら進めていきましょう。台風襲来や降雨後に収穫した果実は品質が低下し傷みやすいため、選別する際は特に注意し選別しましょう。

礼肥の施用

貯蔵養分の蓄積と樹勢回復を目的に樹種ごとの基準（ＪＡ施肥基準参照）を確認し、礼肥の施用を行いましょう。

礼肥におすすめの硝酸入り化成肥料S604

保証成分(%)
窒素16−リン酸10−加里14
正味20kg
窒素の45%が早効きの硝酸態窒素で速効性の肥料です。



注意する主な病害虫
モモ(収穫後)…せん孔細菌病、モモハモグリガ
カキ…炭疽病、うどんこ病、カメムシ類

かん水
降雨が少なく乾燥が続く場合はかん水を行いましょう。特に礼肥施用後は、肥料の分解吸収促進のためかん水を行います。

台風対策
台風の襲来しやすい時期となります。台風対策は事前対策が重要です。気象予報で台風の発生や進路に注意しながら襲来前の対策を徹底し、襲来時の被害軽減を図ります。

台風襲来後に多発しやすい主な病害
モモ…せん孔細菌病
イチジク…さび病
キウイフルーツ…かいよう病　等

※農薬散布する際は、必ずラベルを確認し記載されている登録内容を確認して行ってください。また、農薬飛散(ドリフト)に注意しながら実施します。


台風通過後のイチジク園

○事前対策	○事後対策
●集、排水溝の整備 ●防風網、ブドウやキウイ棚整備補強 ●支柱の補強、接ぎ木部の固定強化 ●マルチ（抑草シート等）の飛散防止 ●病害の防除	●倒伏樹の引き起こし（根が乾燥しないように早めに引き起こす） ●落葉のひどい樹の日焼け防止剤（ホワイトンパウダー等）の塗布



家庭菜園

まだまだ暑い日が続いております。近年は9月以降も暖かく推移するため病害虫の発生が例年に比べて長引く傾向にあります。さらに暖冬傾向のため害虫の越冬数が多く世代交代のサイクルも早まり発生が多くなっています。特にこの時期は葉物野菜の定植が多いため被害も拡大しやすいです。そこで効率よく被害を抑えるために農薬を適切に使用しましょう。今月は、この時期に発生する害虫と対策となる農薬についてご紹介します。

・チョウ目(アオムシ、コナガ、ヨトウムシなど)
春と秋に発生が多く、葉を食害する。秋冬野菜のみならず多くの野菜の天敵。

・半翅目(カメムシ、アブラムシなど)
カメムシは果実や生長点付近を吸汁し新芽の成長を阻害したり、ひどい場合は芯どまり症状を引き起こす。アブラムシについては、病気を媒介する。

この2種類が主な害虫になります。

・ジェイエース粒剤
粒剤タイプで散布しやすいロングセラーの殺虫剤。コナガ、ヨトウムシのほか、アブラムシ類、アザミウマ類をもカバーでき、登録作物も多い。



・プリロッソ粒剤オメガ
新規有効成分により既存薬剤の効果が低下した害虫にも高い効果を示す殺虫剤。チョウ目害虫はもちろん、ハモグリバエなどのハエ目、アブラムシ類にも効果の高い農薬。



・プレバソン5フロアブル
大型のチョウ目害虫(オオタバコガなど)にも効果を発揮する。灌注と散布という使用方法があり登録作物も多いため使い勝手の良い農薬。



・アファーム乳剤
即効性に優れ、大型のチョウ目害虫にも効果のある農薬。



・スタークル顆粒水溶剤
カメムシに効果の高い農薬。その他にもアブラムシやコナガ、キスジノミハムシにも効果あり。



秋冬野菜の天敵となる害虫と農薬についてご紹介しました。農薬については、ラベルに記載されておりますので、登録内容をご確認の上、適切にご使用ください。

Information お知らせ

親子で農業体験 in 三原2026 トマトの収穫体験

8月1日、三原市高坂町でトマトの収穫体験を行いました。親子17組が参加し、袋いっぱいにトマトを収穫しました。トマトの食べ比べや野菜のクイズ大会も実施し、参加者は楽しみながら野菜について学びました。当日は暑さを考慮し、例年より開始時間を一時間早め、ミストを噴射するなど熱中症対策も行いました。



令和７年度の各事業部門において、当地域の職員が表彰を受けました。

令和７年度

ＪＡ共済優績ライフアドバイザー全国表彰

金融推進部渉外管理課	黒田　清信　係長
三原西支店	大向　百合子

ＪＡ共済優績ライフアドバイザー県表彰

金融推進部渉外管理課	黒田　清信　係長
三原支店	的場　康宏　係長
三原西支店	打越　翔平　係長
せとだ支店	藤原　亮輔　係長
本郷駅前支店	柳川　　涼　係長
三原西支店	大向　百合子
三原西支店	鈴木　圭一
幸崎支店	味木　太悟
せとだ支店	山本　悠生
本郷中央支店	有木　愛美
竹原支店	大久保　直樹
竹原支店	小川　海翔

ＪＡ共済優績スマイルサポーター県表彰

金融管理部共済管理課	脇　　修司　係長
竹原支店	大沢　美紀　係長

ＪＡバンク優績投信担当者表彰

本郷中央支店	濵中　勇輝

ＪＡバンク優績窓口担当者表彰

三原支店	中井　貴浩

ＪＡバンク優績店舗表彰

竹原支店

日本農業新聞通信員優績表彰

竹原支店	池田　日笑

※所属支店・部署は令和８年度現在

10月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】
三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】
8：30～17：00

【年金相談会　開催時間】
10：00～16：00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			三原							三原	三原				年金相談会　竹原支店		三原							三原						
			三原西							三原西	三原西						三原西							三原西						
			本郷							本郷	本郷						本郷							本郷						
			久井							久井	久井						久井							久井						
			鷺浦							鷺浦	鷺浦						鷺浦							鷺浦						
			せとだ							せとだ	せとだ						せとだ							せとだ						
			竹原							竹原	竹原						竹原							竹原						